

| プログラム名 | 焼き杉工作 | | 時間 | 1.5～3時間 |
|---------------|--|--------|-------|---------|
| ねらい | 1 豊かな創造性を培うとともに、手作りの喜びを味わう。 2 用具の安全な使用方法を体得する。 3 自然のものを使用することにより「玄海の家」での活動の思い出とする。 | | | |
| 活動内容 | 1 活動形態 → 個人あるいはグループ（4～6名程度） 2 内容 → 好きな動物のかたちの杉板を選び、その杉板を焼いて作品を制作する活動。 | | | |
| 対象 | 制限なし | 活動可能人数 | 40人程度 | |
| 展開例 | <p>1 集合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食堂売店に申し込みと事務室への連絡 ・指定された場所と時間に集合（入所時に確認） ・グループの場合は、グループごとに集合 ・参加人員と健康状態の把握 <p>2 事前指導（「玄海の家」指導員・約10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動道具の準備、配布 ・説明および諸注意（実施方法、安全、マナー等） <p>3 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉板の選択（リキ・1冊・1冊・2冊・黒・ワ の6種類） <p>※事前に選択させ、ホームページでダウンロードできる専用申し込み用紙でお申し込みください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤスリで形をととのえる（角を落とすだけでなく、形を変える程度まで削る） ・ガスバーナーで杉板全体を平均して焼く（表・裏・側面） ・木目の光沢が出るまでたわしで磨く ・「玄海の家」の焼印を入れる ・ボンドで目玉をつけ、ヒートン（金具）やひもをつける <p>4 事後指導（各団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具の後片付け、ゴミの処理 ・人員確認および借用物の確認と事務室、食堂売店への返却 ・評価と反省 | | | |
| 実施上の留意点 | 1 研修室の使用などがあるので、利用前に十分事前打ち合わせをする。 2 事前に杉板の形を選択し、「玄海の家」に用紙を提出する。 3 制作の進度に差が出るため、時間設定に余裕をもたせる。 4 作り方、用具の使用方法、片付けなど事前指導として「玄海の家」職員が実施する。 5 用具の貸し出し、返却は職員の点検を受けて確実に行う。 6 物品の購入および支払いは、すべて食堂売店でを行う。 7 刃物、火気を使用する場合は、ケガや火傷がないように十分注意する。 8 焼印、ガスバーナーの使用は必ず引率指導者が行う。 | | | |
| 引率者の役割 | 火気、用具の管理 | | | |
| 「玄海の家」で準備できる物 | 木ヤスリ（100本）、焼印セット、たわし、そうきん | | | |
| 利用団体で準備する物 | 軍手 | | | |
| 食堂で購入するもの | 焼き杉セット「杉板、目玉、ひも、ボンド、ヒートン、ガスバーナー」（300円/人） | | | |